

キラリ TOKYO

一輝く企業の現場から

第141回

株式会社チバダイス



社員が働きやすい環境づくりに腐心している、経営者の千葉氏。その思いは社員にも伝わり、互いに支え合う社風を生み出している

歯車についての総合ソリューションを提案

チバダイスは、家電、OA機器、自動車、医療機器などに使われる小型歯車や、各種歯車用金型の設計・製造を手がける企業。棒状の金属に歯車などの型を刻む「CD加工（長尺棒特殊切削加工）」は同社の独自技術で、小さな手間、低いコストで高精度な製品を生み出すことが可能だ。また、プラスチック歯車の量産品と同等の試作品を最短3日間で納品できるサービス「スピードトライ®」も、多くの顧客から好評を博している。

サービスの多彩さや幅広い提案力も強みだ。

「ほとんどの歯車メーカーは、金型や成形、歯切り（歯車のギザギザを削り出すこと）など、特定の分野に絞って事業を展開しています。一方、当社はこれらすべての分野を手がけていますから、お客さまのニーズに合わせて柔軟な対応・提案ができるのです。また、製造する金型や歯車の種類も豊富ですし、歯車の耐久性や騒音低減などの実験を行う『プラスチック・ギヤ・システム研究所』も運営しています。格好良くいえば、当社は『歯車に関する総合ソリューション業』なのです」（代表取締役社長 千葉英樹氏）

社員同士が自然と支え合う風土がある

埼玉県八潮市にあるチバダイスの工場では、屋上にフットサルコートが設置されている。また、工場の床はコンクリートではなく木製だ。ここでは、「社員の働きやすさを何より優先する」という経営者のこだわりが詰まっている。

「フットサルコートをつくったのは、私が社長に就任して数年たった頃です。休み時間をつまらなそうに過ごしている社員を見て、皆で楽しむ場をつくれなかと考えたのがきっかけでした。鉄柵の設置費や人工芝代に数百万円かかりましたが、社員が楽しそうにボールを蹴っている姿を見ると、それ以上の価値があったと思います。一方、床に木材を張ると決めたのは先代（千葉氏の実父 文夫氏）でした。コンクリートの上で長時間作業をしていると疲れて、かかとか痛くなるのですが、木の床だと疲れを感じにくいですね。

仕事は楽しくやる方がいい。そして社内に笑顔が増えれば業績も自然についてくると考えているのです」（千葉氏）

現在、チバダイスでは、2カ月に1度のペースで全員参加の飲み会を開催。新年会や忘年会、社員旅行などのイベントも毎年

社員の幸せにこだわり続ける

[会社概要]

代表：代表取締役社長 千葉 英樹^{えいじゅ}氏
業種：歯車・金型加工業
資本金：4800万円
従業員：30名（2018年4月現在）
所在地：東京都葛飾区高砂1-26-2
TEL：03-3696-4441 FAX：03-3696-4443
URL：http://www.chibadies.co.jp/



人間性を大切にしたい

技術力はもちろん必要ですが、さらに大切なのが人間性。あいさつや人と人とのつながりの大切さを、折に触れ社員に伝えています。



数千万円を投じて最新機器を導入。精度の高い製品をつくるために投資を怠らない



チバダイスが手がけているさまざまな歯車製品。精度の高さと短納期を両立させている



屋上のフットサルコートでは、他社の従業員も加えた対抗戦が行われることもある

開かれている。さらに、有志だけが参加する社内イベントもあり、社員同士の距離は非常に近いそうだ。

「皆が支え合うのは当社の伝統。たとえば独り暮らしの若手社員が風邪で寝込むと、私が何も言わなくても、上司や同僚が訪問してご飯を食べさせたり、病院に連れて行ったりしますね。こういう社風は、もしかすると『今風』ではないかもしれませんが。世の中には、人間関係の距離が近すぎることを暑苦しく感じる人もいます。でも私は、社員と密接に関わり、可能な限り皆の面倒を見たいのです。今、当社で頑張ってくれている社員のほとんどは、当社に居心地の良さを感じているのではないかと思いますよ」（千葉氏）

会社を「大きくする」より「強くする」に主眼

歯車のパイオニアとしてしっかりと地歩を固めてきたチバダイス。リーマン・ショック後の不況期などにも積極的に投資を行い、技術力を高めて顧客を広げている。しかし千葉氏は、経営規模の拡大には興味がないようだ。

「当社の企業理念は『歯車を育む、人を育む』。歯車を通じて社員全員が成長することがチバダイスの存在意義だと私は信

じています。ですから売上高が伸びても、会社の中身が悪くなって社員が不幸に陥っては意味がないのです」（千葉氏）

量より質の追求。そうした経営方針を今後も崩すつもりはないと、千葉氏は語る。

「全社員が幸せに働き続けられる会社を維持するためには、社員1人あたりの利益率や、安全性などが重要。これらのデータは、常に厳しく追い求めるつもりです。また、これまで世の中になかった製品を、自分たちの手で生み出すことにもこだわっていきたいですね」（千葉氏）

会社を大きくすることにはこだわらない。チバダイスの目的は、あくまで「会社を強くすること」なのである。

取材後記

精工舎で歯車技師をしていた祖父から三代、歯車一筋に磨かれたその技術は、世界から評価されるまでに大きく育まれました。その技術を支えているのは、先代の「人を育む」という強い思い。「技術と人を育む」当代千葉社長が目指す「強いチバダイス」の源泉は、ここにあるのかもしれませんが。

（企画課 大場順二）